

岡山トヨペット K-tunes Racing
2020 AUTOBACS SUPER GT Round2
阪口晴南選手の代役で脇阪薫一選手を起用



岡山トヨペット株式会社（代表取締役社長／末長一範）は、自社のレーシングチームである K-tunes Racing が参戦している SUPER GT Rd2（8月8、9日）に関して、第2ドライバーである阪口晴南選手が#39「TGR TEAM SARD」のヘイキ・コバライネン選手の代役で GT500 クラスにチャレンジすることになり、K-tunes Racing の第2ドライバーに脇阪薫一選手を起用する。

■脇阪薫一選手コメント

まず若手のチャンスを後押ししようとするチームの姿勢に敬意を表します。

K-tunes Racing のドライバーとしてレースをするのは初めてとなりますが、末長代表やチームスタッフとは様々なレースや研修活動を通じ交流を重ねてきた経緯があります。

加えて、影山監督は GT500 クラスでの初めてのパートナーであり、レースだけでなく公私ともに本当にお世話になりましたし、新田選手との関係性は近年の S-GT ファンにも説明不要だと思います。

このようなチームの心意気と状況、また信用出来る方々からのオファーで、僕自身も何も迷う要素が無く即決でスムーズに事は進みました。

僕が今季参戦する GT World Challenge Asia のテストも頻繁に続いていたので多くの S-GT 参戦選手よりは乗り込めていまして特に問題はなく、初めてドライブする RC F GT3 と久々に履くダンロップタイヤに早く順応する事が必要ですが、そこも旧知の新田選手のデータがあるので問題とならないでしょう。

僕に求められている事はレースの状況によって刻々と変わると自覚していますので先輩達に「少しは成長したな！」と言って頂ける様に気を利かせて走ります。

とにかく、どんな状況でも笑顔溢れる現場となるでしょうからチームに合流するのが楽しみです。

脇阪薫一

■本件についてのお問合せ先

岡山トヨペット株式会社

モータースポーツ部 モータースポーツグループ 神元

メール : k-tunes@okayama-toyopet.jp